



いろいろなおばけの世界にトリップ！！～

その名も「おばけドームパーティー」開催！

今日、12月9日（土）区立科学館（清水3-3-13）で、「おばけドームパーティー」が開催されました。子どもたちが世界にひとつだけのオリジナルのおばけに変身し、プラネタリウム型のエアードーム内で、立体的に浮かび上がって自由自在に形を変える影絵を楽しみました。

今回の「おばけドームパーティー」は、NPO法人「西荻まちメディア」（善福寺3-2-10 理事長：村田達彦氏）が地域の子どもたちに愉快でちょっとこわい？アートと科学の混ざった貴重な体験を楽しんでもらおうと企画したイベントです。

「西荻まちメディア」は、5年前に設立され、地域に開かれたアートでまちを盛り上げていこうと、コンサートや西荻薪能、トロールの森（野外アート）、空店舗活用など多様な活動を行っています。今回の「おばけドームパーティー」は、来年2月に開催される、子どもたちが科学とアートの融合を楽しむために企画された「科学とアート・こどもフェスティバル」のイベントです。

午前10時、小学1年～4年の30名の子どもたちが、少し緊張した面持ちで科学館に集まりました。今日のイベントは、プラネタリウム用のエアードームを使用して、ドーム内で三次元に浮かび上がる影絵を体験します。子どもたちが世界でひとりだけのオリジナルのおばけになり、空気でふくらむドーム内で、立体的に浮かび上がるさまざまなおばけたちと共演します。

まず始めに、子どもたちに新聞紙やカラフルなカットシート、クレヨンなどが入った紙袋が配られ、さっそく「西荻まちメディア」のメンバーから教えてもらいながら、おばけの衣装を作り始めました。



最初に、新聞紙にカットシートを好きな形に切ってはりつけ、おばけマントの模様を作ります。次に、材料が入っていた紙袋をマスクにするため、目があたる部分を切り取って、かぶったときに物が立体的に見えるよう、青と赤のセロファンを貼りました。子どもたちは試行錯誤しながら熱心にオリジナルのおばけの衣装を作っていきます。新聞紙のマントを身につけ、手が出る部分を切り取り、マスクをかぶると、子どもたちはあっという間に世界でひとりだけのおばけに変身しました。

いよいよ、子どものおばけたちは、空気の入ったエアードームに一人ずつ入ります。中は薄暗く、テンポよく流れる軽妙な音楽が、一人ひとりの想像力をかきたてます。ドームの中で、子どもおばけたちが体を動かしたり、変わった形の道具を持って手で振ると、ドームの頭上は立体的に飛び出す大きなおばけたちの影絵でいっぱいになり、「わあ、すごい！」と歓声があがり、その様子はまさに「おばけドームパーティー」です。パーティーを存分に楽しんだ子どもたちは「たくさん影が映っておもしろかった！またやりたいな！」と笑顔で話していました。

「西荻まちメディア」の理事である徳山高志さんは、「子どもたちがとても楽しそうでした。ドームの中の遊びを通じて、アートと科学を楽しみ、好奇心や創造力を伸ばしていただけたらと考えています。」と話していました。

【問い合わせ先】

西荻まちメディア企画実行委員会 杉並区善福寺3-2-10 遊工房内 TEL 5930-5009
<西荻まちメディアホームページ> <http://www.npo-machimedia.org>

